

# THAILAND ECONOMIC UPDATE

## August 2021

ศูนย์วิจัยกสิกรไทย  
KASIKORN RESEARCH CENTER



### 6 月も新型コロナの第 3 波が景気下押し

#### ▶ 要点

- ▶ 2021 年 6 月のタイ経済は、新型コロナの第 3 波の発生により、下押し圧力がかかっています。民間消費・投資は前月に比べ鈍化傾向にあります。また、渡航制限の影響から外国人旅行者の低迷も続いています。しかし、輸出は、貿易相手国の需要が拡大を受け、多くの物品項目が回復を続けています。
- ▶ 2021 年 7 月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比 0.45% 上昇し、4 ヶ月連続でプラス成長になりました。その主な理由は、運輸・通信など非食品部門の価格が上昇したほか、石油製品の価格拡大を背景にエネルギー部門が大幅に上昇しました。一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比 0.14% の小幅な上昇で、前月と比べ横ばいとなりました。
- ▶ カシコン・リサーチセンターは、タイの 2021 年の新車販売台数予測を前年比 9.0~5.3% 減の 72 万~75 万台に下方修正しました。新型コロナウィルスの感染拡大を理由としています。一方、21 年の自動車生産台数は前年比 12.0~17.5% 増の 160 万~168 万台と予測しました。カシコン・リサーチセンターは、タイを含む多くの国で、インドで初めて特定された変異株「デルタ株」が猛威を振るっている状況を受け、予測を見直しました。

#### ▶ タイ経済の動向

##### 2021年6月のタイ経済情報

タイ中央銀行が発表した2021年6月の重要な経済指標によると、新型コロナウイルス感染症の第3波は引き続きタイ景気回復に下押し圧力がかかっています。民間消費・投資も前年に比べ鈍化傾向にあり、渡航制限の影響から外国人旅行者の低迷も続いています。しかし、輸出は、貿易相手国の需要が拡大を受け、引き続き伸びており、工業生産を引き上げました。

6月の民間消費は前年同月比1.2%縮小しました。非耐久消費財が3.4%減、サービスが3.3%減となりました。半耐久消費財が5.0%増、耐久消費財が12.0%増となったものの、いずれも伸び率は前月に比べて鈍化しました。

##### 2021年6月のタイ経済指標成長率 (Y-O-Y: 前年比)



一方で、民間投資は、前年同月比18.3%上昇しました。国内の機械販売が34.5%増、機械・設備を中心とした資本財の輸入が26.5%増、商用車の購入が11.2%増、建材の販売が3.4%増となりました。しかし、前月比でみると0.2%増となり、やや持ち直しました。

6月の輸出は、前年同月比46.1%増の236億米ドルとなりました。貿易相手国の需要が拡大を受け、多くの物品項目が回復を続けています。このほか、電子製品の輸出はサイクルの好転による恩恵を受けました。

工業生産に関しては、輸出の拡大により、前年同月比17.6%上昇しました。また、観光業では、外国人観光客が依然として落ち込んでいます。

### 2021年7月のタイのインフレ率

商務省が発表した2021年7月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比0.45%上昇し、4ヶ月連続でプラス成長になりました。その主な理由は、運輸・通信など非食品部門の価格が上昇したほか、石油製品の価格拡大を背景にエネルギー部門が大幅に上昇しました。

品目別にみると、食品・飲料部門は前年同月比0.47%減でした。米・粉製品が5.61%、果物・野菜が3.22%それぞれ下落したことで、全体を押し下げました。しかし、調味料は3.79%、卵・乳製品は2.47%、肉・魚は0.25%上昇しました。一方で、非食品部門は前年同月比1.06%上昇しました。運輸・通信の上昇が、全体を押し上げました。

一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比0.14%の小幅な上昇で、前月と比べ横ばいとなりました。

**6月の輸出は、前年同月比46.1%増の236億米ドル。**

図1: 民間消費及び民間投資(成長率:前年比)

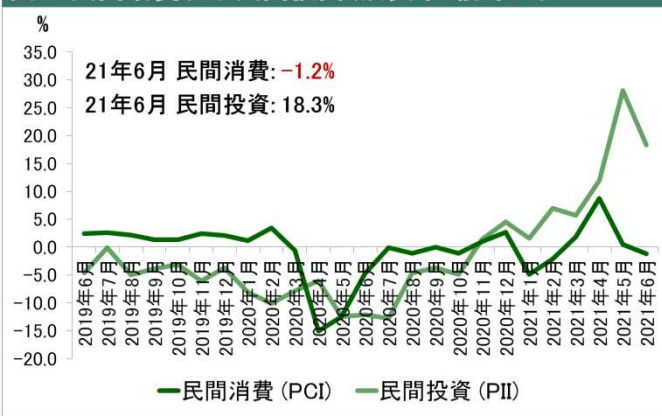


図2: 輸出、工業生産、外国人観光客数(成長率:前年比)

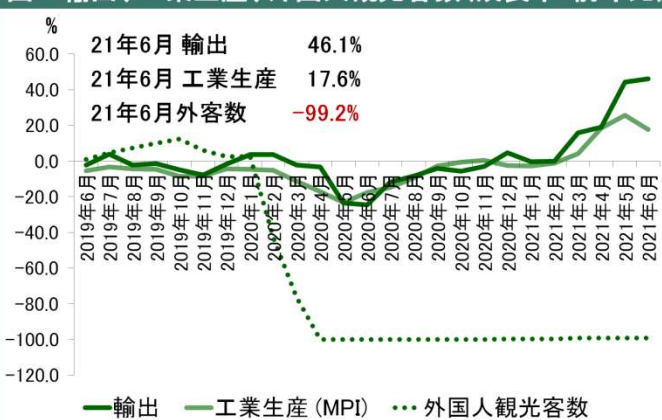


図3: ヘッドラインインフレ率及びコアインフレ率

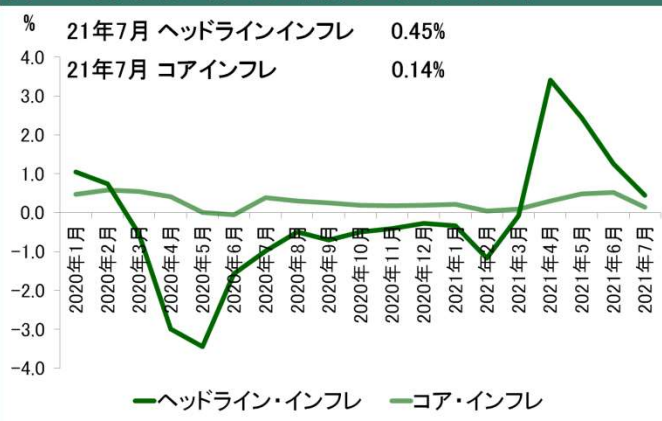


図4: 食品・飲料と非食品・飲料の価格



出所:タイ国中央銀行、タイ国工業省、タイ国観光・スポーツ省、タイ国商務省

## 今年の新車販売、最低 72 万台の予測

カシコン・リサーチセンターは、タイの 2021 年の新車販売台数予測を前年比 9.0~5.3%減の 72 万~75 万台に下方修正しました。新型コロナウイルスの感染拡大を理由としています。一方、21 年の自動車生産台数は前年比 12.0~17.5%増の 160 万~168 万台と予測しました。

カシコン・リサーチセンターは、タイを含む多くの国で、インドで初めて特定された変異株「デルタ株」が猛威を振っている状況を受け、予測を見直しました。

タイと東南アジア諸国連合 (ASEAN) の新規感染者数が第 3 四半期に今年 6 月程度まで減少し、新型コロナウイルスの感染拡大による生産停止期間も短期間にとどまった場合は、21 年の新車販売台数が 5.3%減の 75 万台、輸出台数が、29.0%増の 95 万台、生産台数が 17.5%増の 168 万台になると予測しています。

一方、タイと ASEAN の新規感染者数が今年 6 月程度まで減少するのが今年末まで遅れ、さらに新型コロナウイルスの感染拡大による完成車工場の休業が 1 ヶ月に及んだ場合は、新車販売台数が 9.0%減の 72 万台、輸出台数が 21.0%増の 89 万台、生産台数が 12.0%増の 160 万台になると予測しています。

カシコン・リサーチセンターは、年初に通年の新車販売台数を前年比 4~8%増の 82 万 5,000~85 万 5,000 台と予測しました。しかし、新型コロナウイルスの流行第 3 波を受けて、4 月末に前年比 1.5%減から 3.5%増の 78 万~82 万台に引き下げていました。輸出台数予測、5 月末から据え置きました。

図5: 2021年のタイの自動車販売・輸出・生産の予測

	2019年 (%YoY)	2020年 (%YoY)	2021年 (%YoY)	
			最悪の場合	通常の場合
タイの自動車販売台数	100万7千552 (-3.3%)	79万2千146 (-21.4%)	72万0千000 (-9.0%)	75万0千000 (-5.3%)
タイの自動車輸出台数	105万4千103 (-7.6%)	73万5千842 (-30.2%)	89万0千000 (+21.0%)	95万0千000 (+29.0%)
タイの自動車生産台数	201万3千710 (-7.1%)	143万0千000 (-29.0%)	160万0千000 (+12.0%)	168万0千000 (+17.5%)

出所: カシコンリサーチセンターの予測

### Disclaimer

This research paper is arranged for public information, which has been obtained from sources believed to be reliable. KResearch does not warrant its completeness, reliability or accuracy for commerce or fitness for a particular purpose. The information contained herein may be subject to change at any time without notice. Reliance upon any information contained herein shall be undertaken at a user's own risk KResearch shall not be liable to any user, or anyone else for any damage occurring from the use of any content herein. Nothing in this research paper shall be counted as containing any advice, recommendation or opinion for decision making in business.